

「継続は力なり」

私は、長年この言葉を座右の銘にして、自分自身を叱咤激励してきました。みなさんの中にも、この言葉を座右の銘にしている人も多くおられるでしょう。継続して、どんな「力」が身につかれたでしょうか。

私たち指導員は、同和教育の啓発に関わり、地域のみなさんと接することが多いのですが、市民のみなさんの中からは「同和教育は終わったのでは？」とか「同和教育の話をするから、いつまでもなくならないのでは？」という意見をお聞きします。私は「同和教育は終わっていません」それどころか「インターネットの普及で新たな差別が生まれ、ますます深刻な状況に

なつてきています」ということをみなさんに伝えていきたいと思っています。

そのため今年から、市内の全行政区を5年間かけて回り「地区座談会」を行います。座談会は、1時間から1時間30分程度をいただき、啓発ビデオの視聴と同和教育の現状の話を中心にを行います。これまでの研修で話をした内容と重なる部分もあるかもしれませんが、繰り返し聞くことで新たな気づきや理解が深まるかと思えます。そういう意味でも、啓発活動を継続することが大きな力となり、同和教育に対して、少しでも理解する人が増えて差別がなくなればと願っています。

tomonikiuru

社会教育指導員 木村 博重

市交際費の支出状況

平成30年12月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	1	5,000
	累計	47	180,850
見 舞 い	今月分	0	0
	累計	0	0
御 祝	今月分	1	3,600
	累計	35	224,800
賛 助	今月分	0	0
	累計	3	16,452
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	0	0
	累計	13	95,963
会 費	今月分	2	8,000
	累計	32	144,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合 計	今月分	4	16,600
	累計	132	669,765

◎くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

連載

Message for citizen



市長のらら



未来を生きる子どもたち。未来に、それぞれの個性を発揮して活躍してほしい。それにはやはり教育が肝心です。そんな思いから、人間力向上のきっかけにと取り組むのが論語かるたであり、未来志向で創造を図るのがICT教育です。

市長 横尾 俊彦

ICT教育は来年大きな節目を迎えます。2020年五輪の年はプログラミング教育が本格始動する年でもあります。時代の変化も捉え、ICT教育環境整備が重要なのです。それには機器や通信環境の整備、指導力向上などが必要で、予算も必要です。とはいえ必ずしも財源潤沢ではないので、ICT企業等との連携、国の学力向上・ICT教育推進実証事業に取組み、実質的な市負担を極力抑えながら整備を行うという工夫で実現を目指してきました。さらに時代変化も速く、新たな技術も可能になってきました。

ICT教育推進で総務大臣賞

そこで最新技術でもあるパブリッククラウドを活用して学力向上と教師の働き方改革推進に挑みました。教育現場、すなわち教職員やICT支援員等の尽力で、少しずつ加速しながら未来への教育実現をめざしたのです。全国ICT教育首長協議会で情報を集めつつ、取組み努力の客観的評価や今後の展開も考慮し、日本ICT教育アワードに応募しました。この分野で永年指導役をされてきた学識者、視聴覚教育振興団体の代表者などによる審査委員会で厳正に審査いただきました。

結果は、総務大臣賞を受賞することができました。まずは一段のステップアップです。これを励みにさらに内容の充実、さらなる未来志向努力を積み上げていかねばと感じています。なぜなら、これら努力こそが子どもたちの瞳輝く未来の実現につながると思えるからです。